

未来へ繋ぐ

平塚の伝統



第50回



ひらつか 民俗芸能 まつり

出演団体

湘南座

相模人形芝居前鳥座

(神奈川県指定無形民俗文化財)

田村ばやし保存会

(平塚市指定重要無形文化財)

大久保鼓友連・中久保交友会

(初出演)



入場無料
事前申し込み不要

平塚駅西口から徒歩約8分
駐車場はございません
公共交通機関をご利用ください

ご来場者様へ先着順にて
「第50回開催記念品」をプレゼント！
※なくなり次第終了となります

詳細はこちら

令和8年

11月22日(日)

開場 12:30 開演 13:00

ひらしん平塚文化芸術ホール
(平塚市見附町16-1)



第50回 ひらつか民俗芸能まつり

出演団体と演目



しょうなんざ
湘南座
ことぶきしき ににんさんぼそう
寿式二人三番叟
つばさかんののれいげんき さわいうちうのだん
壺坂観音霊験記～沢市内の段～

高浜高校の卒業生を中心に平成2年（1990年）に結成しました。

平塚市内での公演を行っているほか、一人遣いの人形浄瑠璃の継承に努め、高浜高校文楽部での指導も行っています。

1つ目の演目「寿式二人三番叟」は、公演の開幕前に舞台を踏み清める祝言舞踊です。2つ目の演目「壺坂観音霊験記～沢市内の段～」は、盲目の沢市と彼に献身的に尽くす妻・お里の夫婦愛を描いた世話物の名作です。二人の情感あふれる掛け合いは、会場に深い感動を呼び起こします。



たむら ほぞんかい
田村ばやし保存会
たむら いんばおど
田村ばやし・印場踊り

田村の鎮守・八坂神社の祭り囃子であり、一説には、鎌倉時代に京都から来た楽人により伝えられたと言われています。田村八坂神社の例大祭や神田公民館まつり、地区レク、JA湘南神田支所の祭りなどで演奏を行っています。昨年11月には平塚市重要文化財指定50周年を迎えました。

演目は、屋台・宮昇殿・昇殿・神田丸・唐楽鎌倉・仕丁目・印場の7曲からなり、笛のリードで曲が変化していくことに特長があります。最後の「印場」ではかわいらしい少女たちが「おかめ」のお面をかぶり踊ります。



さがみにんぎょうしばいさきとりざ
相模人形芝居前鳥座
ごしょざくらほりかわようち べんけいじょうしのだん
御所桜堀川夜討～弁慶上使の段～

四之宮・前鳥神社の奉納行事として、江戸時代の中ごろからはじまったと考えられる三人遣いの人形浄瑠璃の一座です。また、相模人形芝居五座の一座でもあり、神奈川県指定無形民俗文化財に指定されています。

演目「御所桜堀川夜討～弁慶上使の段～」は、前鳥座として15年ぶりに披露します。主君の窮地を救うため、弁慶が「上使」として苦渋の決断を下す名場面です。主君の妻を守るため、娘を身代わりにする親子の悲劇と弁慶の武士としての覚悟を描いた涙なしでは見られない物語です。



おおくぼこゆうれん なかくぼこゆうかい
大久保鼓友連・中久保交友会・
きたくぼたいこほぞんかい
北久保太鼓保存会
まつりばやし
祭り囃子

金目地区の伝統を継承する三団体が、ひらつか民俗芸能まつりに初出演します。普段は、北金目神社の例大祭や金目地区の収穫祭、灯ろう流しなどの行事で演奏を行っています。

鎌倉時代創建の北金目神社例大祭では、北久保・中久保・大久保の3地区が太鼓の音の大きさを競い合った「喧嘩太鼓」の伝統が受け継がれています。かつて、意地と熱気をぶつけ合ったその響きは、今も地域を一つにする誇りです。今回は3地区が力を合わせ、伝統の熱気そのままに迫力あふれる太鼓を打ち鳴らします！

※演目は予定であり、変更する場合があります。